

主催:認定NPO法人 国連WFP協会

WFP ウォーク・ザ・ワールド大阪 2024に参加しました!!

5月19日(日)万博記念公園にて、WFP主催の世界の子どもたちの飢餓をなくすためのチャリティーウォーク『WFPウォーク・ザ・ワールド大阪2024』が開催され、全体で1,773人、よどがわ市民生協からは51人が参加しました。コースは8キロと5キロのコースがありました。参加費の一部が寄付となり、一般は1,800円のうち810円が寄付、小学生は700円のうち140円が寄付されます。

よどがわ市民生協は、昨年より参加しています。今年はおそろいの『よどまるTシャツ』を着て、理事会・職員および家族を対象に、健康促進を目的とした福利厚生の一環としても取り組みました。当日はあいにく小雨の天気でしたが、多くの花が咲き、新緑の中楽しく歩くことができました。今後も、世界の子どものための活動に貢献していきたいと思ひます。



※WFP=WFP国連世界食糧計画(国連WFP)



『ほのぼの』は、「こまった時はお互いさま」という気持ちを大切に、思いやりと感謝の心で支えられた組合員どうしの助け合いの活動をしています。

よどがわくらしの助け合いの会 133



第20回『ほのぼの』総会を開催しました

6月25日(火)摂津市立コミュニティプラザにて開催しました。30人の会員が出席し、2023年度の活動・会計報告と2024年度活動計画、幹事会体制について報告を行い承認されました。

来賓として、よどがわ市民生協の敷内理事長をはじめ、他生協からおおさかパルコープ「助け合いの会」やコープこうべ「むつみ会」さんもお出席いただきました。



お申込み・お問い合わせ

今回、節目の第20回総会で、議案書とは別に「20年のあゆみ」も配布し、過去のほのぼのニュースなども会場で展示し、これまでの歴史を振り返りました。

また総会の後は、大阪健康福祉短期大学特任教授で、よどがわ市民生協の副理事長でもある川口啓子さんより、介護をめぐる情勢と介護現場のリアルな状況をふまえ、尊厳を護るための「生協10の基本ケア」についてわかりやすく講演いただきました。介護に不可欠なのは、愛情より、根性より、知識であることをしっかり学ぶことができ、参加者からも大変好評でした。

会員からの感想

20年早いんですね。おめでとうございます。これからもずっと続くよう祈るばかりです。

介護する人も、される人も『10のケア』を学ぶこと、介護予防をし、家族の負担が軽減できたら良いと思ひます。

『ほのぼの』事務局(組織部)
☎06-6319-5619 (月~金 9~17時)

〈活動会員のみなさんへ〉次回、交流会は9月21日(土)摂津市立コミュニティプラザで開催する予定です。くわしくはハガキまたはメールにてご案内を予定しています。

よどまるレポ

024 大阪府とともに 食品ロス削減に取り組みます!

消費者庁統計結果では、食品ロスによる損失が国民1人あたり1日94円、国民全体では年間4.3兆円です。このような中、よどがわ市民生協は大阪府が推進している、おおさか食品ロス削減パートナーシップ制度での、パートナーシップ事業者に決まりました。

おおさか食品ロス削減パートナーシップ制度とは、食品ロス削減に積極的にとりくむ大阪府内の事業者に、大阪府が協力・支援することにより、広く消費者に食品ロス削減の啓発を行うことを目的としています。



活動PRとして、事業者名と取り組みを大阪府のホームページに掲載しています。

★よどがわ市民生協では、2024年度に以下の食品ロス削減の取り組みを予定しています。

実施時期・期間	活動内容
6月・10月・1月	組合員向け食品ロス削減啓発チラシ配布
10月	フードドライブの実施 ●秋の総代懇談会開催の際に、会場で組合員へ食品提供の呼びかけ ●食品ロス削減月間の周知と、職員へ食品提供の呼びかけ
毎月	こども食堂への余剰商品物流端数在庫などの寄付

地域とともに

今回も...

よどがわ市民生協が食材提供をしている団体紹介
団体名:【人間研究所ころらぼ (こどもお笑い食堂)】

住所 西淀川区柏里
HP <https://cocorolab.localinfo.jp/>
mail cocorolab@gmail.com



お互いに思いやり、自己実現できる環境を

私たち人間研究所ころらぼは、2009年に臨床心理学の勉強の場として立ち上げました。2013年より、地域の子どもたちに向けた漫才教室『こどもお笑い道場』がスタート。その後西淀川区の社会福祉協議会からの誘いで、2018年よりこども食堂『こどもお笑い食堂』がスタートしました。お互いを思いやり、助け合い、自分たちで行動して自己実現をしていける環境づくりを心掛けています。

よどがわ市民生協さんからいただく食材は、ひとり親家庭・ヤングケアラー家庭に週2回、食材や日用品を無料でお届けしています。物価高騰の中、家計を圧迫されている家庭が多いので、たいへん喜ばれています。



今後は防災の学びの場へ

今後は、「こどもお笑い食堂」を、「防災食堂」にしていきたいです。近所の公園を会場に、地域の老人会や民生委員などと協力し、月一回のこども食堂では非常食を一緒に作って食べてみたり、えんにちやバザーの催しを通じて、誰でも集える開かれた防災の学びの場にしていきたいという想いがあります。

西淀川区との共創事業「西淀川区お笑いの街化計画」も担っており、さまざまな取り組みを通して防災の意識とお笑いが身近にある、そんな街にしていきたいです。



毎週受付中~♪

よどまる応援基金のご案内

子ども食堂などへ安定的に食材を提供するため募金にご協力ください。
※この募金は所得税の寄付金控除の対象となりません。

募金方法 注文書の4ケタ・6ケタ注文欄「001419」に個数(1=100円)を記入。インターネット注文「eフレズ」でも募金できます。

